

5月 かんご だより



2019年5月号 看護部だより

☆はじめての消防訓練!!

90歳の視力障害のある患者さん役で参加しました

火災発生のアナウンス後、看護師の避難誘導を待っている時間は数分でした。しかし、その数分の短い時間でも早く逃げたい気持ちになりましたが、目が不自由であることから、どこに逃げて良いかもわからず、とても不安な時間でした。これからは備え、安全な避難誘導ができるように、患者さんの救護区分を把握し、どのように避難するのか先輩と確認しておくこと。さらに日頃から大きな声が出せるように意識することや、患者さんへの声掛けにより安心感を持ってもらえるように行動したいと思います。(5北:江上)



模擬患者さん役の準備中です。緊張するな～。



発火点を確認します。



初期消火が、重要です。



レスキューマットへの移動、互いに息を合わせ、声掛けが重要です。

「大丈夫ですよ。」の声掛けが、何より安心することを実感できました。



反省点: 今回レスキューマットの準備と使用方法が徹底されていませんでした。各部門や各看護単位で実践確認をお願いします。

災害対策委員会より

令和元年度 看護部目標 時間管理

先読みの看護～
ひとつ屋根の下にいる患者さんを皆で見る

第1弾: 多床室のカーテンオープンを成功させよう

5月17日(金)看護部勉強会で、先読みをした声かけや、複眼の目で患者さんを見るために、多床室のカーテンを開け視界を広げる取り組みを開始しました。みんなで取り組みましょう。

患者さんへの説明タイミング

- ①朝の「おはようございます」の挨拶時
- ②配膳・環境整備の時
- ③処置終了後に傍を離れる時
- ④入院時のオリエンテーション時

